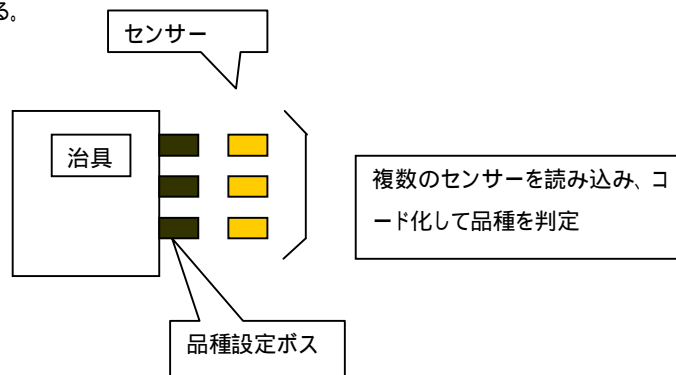


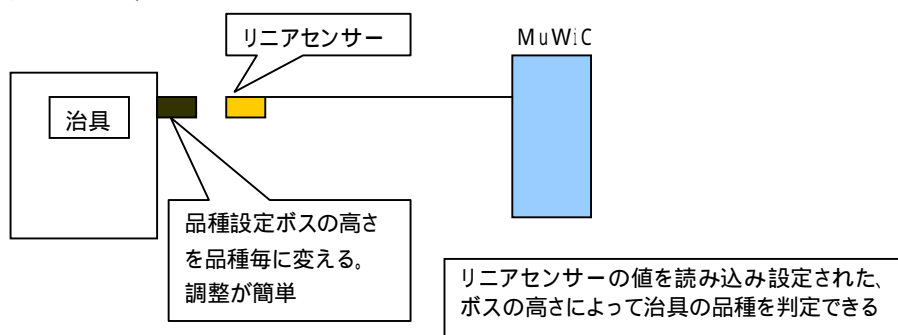
従来、複数のセンサーを使用して治具パレットの品種を判定している用途に、リニアセンサーとMuWiCを使用して、ボスの高さにより品種の判定を行うようにする。

従来



MuWiCを使用すると

高さを計測して、機種を判定する。



- センサーの個数を少なく出来る。
- センサーの取り付けが出来ない等の問題が発生しない。
- 同じ治具をボスの高さを変更する事により、他の変種に転換出来、治具の在庫を最小に出来る。
- 基本 8 品種、応用 16 品種の判定を 1 個のリニアセンサーで使用できる。
- 配線のコストダウンが出来る。
- メンテナンスが容易になる。

メリット

- センサー個数の削減
- 設備コストの減少
- 配線のコストダウン
- 調整が簡単
- メンテナンスが簡単になる。
- 多品種対応が可能
- 基本 8 品種、応用 16 品種が 1 センサーで設定出来る。
- 治具の占有スペースが小さい

応用例

- 組立ライン治具
- 検査ライン治具
- 製品分類
- その他